

外洋常任委員会（2026 年 8 月度）議事録

2026/09/28

文責 葛川大助

日時：2026/8/13 20:00-22:00（オンライン会議）

1. 外洋加盟団体長会議の件

➤ 参加者について

- ・今回は外洋加盟団体の現在の課題についての議論に集中したいので、参加者を外洋加盟団体に絞りたい。参加者へのご案内は電話も活用している。
 - 賛成、事前に各団体から意見聴取したらどうか。
 - 外洋加盟団体長会議の事前調査（各団体の悩み・課題の書面提出）を実施し、会議で共有できるよう準備する。また、外洋加盟団体長会議の開催要項を作成し、参加者に共有して確認・議論を受ける。
- ・昨年の横浜の会議の際にアンケートを取った。でも回答率が良くなかったので、会議の際に各団体からプレゼンしてもらっても良いかもしれない。
- ・専門委員会の役割と今後の運営方針について議論し、焦点を絞った議論にしたい。
- ・ファーストエイドについては、過去には消防士に来て講義をしてもらったこともあるようだ。外洋安全委員会内でファーストエイド等の安全対策についての議論を進め、外洋加盟団体長会議での方向性決定後に委員会内で共有する。

➤ 議題について

- ・2025 年度事業報告
- ・外洋常任委員会の今後の運用について
- ・2026 年度事業計画
- ・2026 年度予算の説明
- ・外洋推進グループ内規の改正について（趣旨説明と改正案）
- ・外洋推進グループの喫緊の課題：加盟団体からの現状報告と問題提起
- ・計画している新プロジェクトの説明と協力依頼
- ・その他報告事項

各事項について説明。参加委員承認。

➤ 会議及び懇親会の場所に関する件

外洋内海の永松会長が検討中であることを報告

2. 外洋加盟団体用メーリングリスト作成の件

- ・寺澤事務局長へ依頼済み。

- ・各委員から Line グループ、What's up の活用の提案もあり。
- ・Gmail の利用者には JSAF のサーバーからのメールが届きにくいことがあるので注意が必要。

3. 外洋艇登録の件

- 外洋艇登録事務局の後継候補者について。

紹介された候補者について参加委員全員承認。来月の早い時期に関係者を交えたミーティングを開催し事務局の運営について議論する予定。

4. 内規改正案

- 2026/2/18 付け「外洋艇推進グループ内規に関する確認のお願い（問題提起）」の紹介

- 資料を示して改正の方向性について説明

- ・外洋推進グループと加盟団体の関係について説明し、日本セーリング連盟には定款に明記されていないが運営規則により 5 つのグループが規定されていることを共有した。また、外洋加盟団体長会議が独立した組織として機能しているが、年間 2 回の開催頻度では変化の激しい現状における意思決定の場として適していないのではという課題を指摘した。

- ・現在の体制は、外洋団体長会議は加盟団体と JSAF 外洋系理事とを合わせて外洋艇推進グループとしてその会議を外洋艇団体長会議としている。

しかし JSAF の組織図上は、外洋艇推進グループは外洋専門委員会と理事で構成されている。（加盟団体は含まれていません。） その大部分を集め行なっている合同委員会の方が外洋艇推進グループの会議として適当ではないかと思う。

- ・事務局長会議が併設されていて、会議では決議を行うこともある。最高の意思決定機関とはどういう意味なのか？

→平成 21 年 7 月 10 日付け「外洋組織再編成とその経緯について」を用いて内規作成に至った経緯を説明。外洋系の組織が散在していた問題を解決するために外洋総務委員会が設立されたことを説明した。その歴史と経緯を踏まえて、外洋加盟団体と JSAF 全体との調和を求める必要がある。

外洋加盟団体長会議が外洋系組織のトップレベル機関として機能していることを強調し、その自律性と JSAF 全体との関係を調和させる必要性について言及した。

- ・US Sailing ではヨットクラブが地域を統括している。さらにそのヨットクラブのリージョンを統括している団体がある。そして、それを Federation が統括している。会員はこの Federation に加盟する。

→US と日本ではヨットクラブの組織、施設及び機能がだいぶ違うので、US のシ

システムは参考にはなるものの、同列には論じられない。

- ・加盟団体が何をするのか。セーラーがクラブと加盟団体と両方に加入するのは負担ではないか？
- ・会員が支払う会費は US ではヨットクラブと US Sailing の 2 か所のみ。
- ・日本では外洋加盟団体に会費を支払っているが、クラブではできないこと、例えば島回りレースの主催などを行い、その会費はセーラーに還元している。それをきちんとわかってもらうことが必要ではないか。
- ・三浦ではクラブではできない。また、JSAF に支払ったお金が何に使われているのかわかりにくい。

→JSAF へ支払った会費はディンギーに使われているのではなくて、管理部門に掛かる費用だけ。

→透明性を高めることが必要。

- ・JSAF はみんな手弁当でクリアにやっている。会計についてオープンにしてやるのは良いのでは？外洋とディンギーはいろいろ違うことがあるが仲良くやるのが大事。
- ・外洋系の会費・登録料・予算の流れや使途を「見える化」するため、外洋常任委員会および関係委員会と連携して、財務の説明資料やスキームを作成・公開できるよう検討を進める。

→外洋三浦を含む地域の外洋団体が、会費や登録料をどのように活用し、どのようなメリットを提供しているかを整理し、今後の説明や議論に活かせる資料を準備するのが良いと思う。

- ・内規の改正について JSAF 本体の承認を得る必要があるのか。

→ルールには、委員会の内規、規程、JSAF の規程などいくつかのレイヤーがある。他の委員会の内規の事例を見ても、外洋推進グループの内規は少なくとも常任委員会の承認を得ておきたい。

- ・外洋とかディンギーではなく、一体として進めることが大事。

→重要な議題なので、内規については継続審議としたい。次回には、内規改正案を提示したい。

5. オブザーバーの件進捗報告

現在検討を進めている。次回進捗報告する。

6. プロジェクト進捗報告

- 追い出しコンパの件

今日の時点では特に報告、共有すべきことはない。

- ラリーの件

- ・企画書を用いて説明された

- 良いアイデアだと思う。かつてのフラッグリレーのデータが残っているかもしれないので活用してはどうか。参加艇は JSAF 登録艇だけか？

- JSAF 登録艇だけではなく、幅広く参加をお願いして、JSAF 登録の魅力をアピールして JSAF の仲間を増やしたい。

- 良いと思う。サンディエゴで普及のためにお祭りレースが毎年3回。サンディエゴからメキシコまで行ってパーティーをして帰ってくる。コロラド島回りレースもある。ベネトウ・カップもやっている。そこではクルーザークラスがある。金曜日はレース参加者でルール勉強会もしている。

- ・馴染みのない方にもルール勉強会ができると良い。

- ・マルチハルやディンギーも入れてはどうか。ディンギーピクニックというのが諸外国にはある。

- マルチハルが参加することはウエルカム。ディンギーについては、短いコースを併設することで可能となるかもしれない。

- ・レースは加えない方が良いのでは？クルージングだけ。安全面をレクチャーして。

- 安全面でいうとカテゴリー3か4になりそう。うまく必要性和実際にやれることを調和させて誘導すると良いのではないか。

- 準会員の件

- ・現在、検討中なので次回委員会以降で説明の予定。

以上